

平成30年度

木祖村教育委員会点検評価報告書

木祖村教育委員会

# 平成30年度 木祖村教育委員会点検評価報告書

1	教育委員会関係	3
	(1)教育委員会の開催	3
	(2)教育委員関係会議・研修等	3
	(3)平成30年度教育委員会開催経過及び協議事項等	4
	(4)平成30年度教育委員会関係事業・会議・研修等	6
2	学校教育関係	8
	(1)学級編成、児童生徒の状況	8
	(2)通学対策	9
	(3)就学援助費	9
	(4)学校給食	9
	(5)教員住宅	9
3	社会教育、公民館関係	10
	(1)社会教育・公民館関係の会議、行事一覧	10
	(2)公民館学級講座実績	10
	(3)木祖村型コミュニティスクール	11
	(4)青少年健全育成関係	12
	(5)読書活動推進関係	12
	(6)芸術文化関係	12
	(7)成人式関係	12
4	社会体育関係	13
	(1)社会体育関係会議等	13
	○体育協会	13
	○村内一周駅伝大会	14
	○社会体育施設使用調整会議	14
	(2)スポーツ団体等	14
	○体育協会(11種目)	14
	○体育協会以外のスポーツ団体	14
	○ジュニアスポーツ団体	14
	(3)社会体育施設利用状況	14
	○木祖村運動場	14
	○木祖村テニスコート	14
	○社会体育館・弓道場	14
	○学校開放施設	15
	(4)スポーツ大会・教室等	15
	○村民体育祭	15
	○村民登山	15
5	文化財保護事業関係	15
	(1)文化財保護審議会	15
	(2)木祖村郷土館	15
6	放課後児童クラブ事業関係	16
	○放課後児童クラブ利用状況	16
7	主要建設工事等(施設整備・管理・修繕・備品購入)	18
8	教育委員会関係委員名簿	19
9	公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧	20
	○平成30年度 教育委員会・公民館学級講座(社会教育)	20
	○平成30年度 教育委員会・公民館学級講座(社会体育)	21
	○平成30年度 教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)	22

# 1 教育委員会関係

## (現状と評価)

教育委員会は、平成27年4月1日に施行となった「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」により、平成28年3月31日に任期が満了となった教育長に代わり、首長が任命した新制度による新しい教育長（任期3年）を迎えて、3年目の教育委員会として平成30年度発足を果たした。平成30年9月30日に任期終了となる教育長職務代理者を再任し、現行体制で推進することとなった。

木祖村教育委員会では、平成30年度において、11回の定例会議と2回の臨時会を開催、必要事項を審議、決定した。定例会では小学校、中学校へ各2回の授業参観及び給食試食を行い、学校内における児童生徒の様子や教職員の様子を実際に見ることを大切にしてきた。

就学相談アドバイザーが住民福祉課、保育園、小中学校及び放課後児童クラブと連携した就学支援体制をサポートする形で位置付いたことは、関係部署で対象生を理解すると共に保護者への理解を促すことに大きな成果を上げた。

教員の働き方改革が声高に叫ばれるようになり、県教育委員会、郡町村教委連絡協議会とも連携しながら、小中学校の実情を把握すると共に具体的にできそうな改革を探る情報共有を行うようにしてきた。

信州型コミュニティスクールを中心にした学校への支援体制の進展や、月1回のあいさつ運動も定着し高まりを見せてきた。

その他、各種の研修会等への出席、成人式など教育委員会の主催事業や村の行事にも積極的に参加をしてきた。

## (課題)

教育委員会は、教育行政の基本的な方針や委員会の規則や規程の制定、学校その他教育機関の設置や廃止、教育機関の職員の任免、事務事業の評価等は、委員会自らが執行管理することとなっている。

しかし、一方では、各地でのいじめや体罰事案、教職員の非違行為が続く中で、教育委員会のあり方が課題とされている。人事権、予算編成・執行権、条例制定権などは首長部局にあり、また教員人事などについても県教育委員会が行うなどの実態の中で、市町村教育委員会の責任や権限が見えないといったあり方が問われることとなっている。

また、平成28年4月1日から新しい法律の下で、村長が総合教育会議を設置し、教育に対する大綱を策定する中で、それまで村長と教育委員のみで実施していた形態から、平成30年度の総合教育会議を、より参加者の範囲を広げ、小中校長、放課後児童クラブ担当者、コミュニティスクール担当者、社会教育、社会体育担当者に幅を拡げ、子育て及び支援について情報共有できるようにしたが、今後どのような体制の構築が良いのか、教育行政とどのように関わり合っていくのが良いのか、県や他の市町村の取組や動向も参考にしながら、木祖村教育委員会のあり方について様々な方向から検討を進めていく必要がある。

### (1)教育委員会の開催

定例教育委員会を年11回 臨時教育委員会を2回開催

### (2)教育委員関係会議・研修等

市町村と県教育委員会との連絡会議	8回
市町村と県教育委員会との懇談会	1回
関東甲信越静岡市町村教育委員会連絡協議会総会 平成30年5月25日 静岡県藤枝市で開催	
木曾郡町村教育委員会連絡協議会総会 平成30年6月8日 王滝村公民館で開催	
長野県市町村教育委員会連絡協議会研修会 平成30年10月12日 安曇野市堀金で開催	
委員による小・中学校訪問	
小学校 7月25日(火) 11月21日(火)	
中学校 6月20日(火) 12月21日(木)	
長野県国語教育学会木祖大会 教育長参加 平成30年11月2日(金) 木祖小・中学校公開授業	

(3) 平成30年度教育委員会開催経過及び協議事項等

会 合	期 日	会 議 事 項
4月臨時	平成30年4月5日	(1) 人事異動による平成30年度小中学校新任職員を確認
4月定例	4月20日	(1) 木祖村社会教育委員の委嘱について (2) 木祖村公民館運営審議会委員の委嘱について (3) 木祖村文化財保護審議会委員の委嘱について (4) 平成30年度木祖村公民関係役員について (5) 木祖村立小中学校学校評議員の委嘱について (6) ゲスト講話の実施について (7) 平成30年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会(静岡大会)参加について (8) 5月の小・中学校行事について
5月定例	5月18日	(1) 平成30年度奨学金貸与について (2) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (3) 小・中学校学校経営概要について (4) 平成30年度課外活動・部活動活動方針について (5) 学校職員と民生児童委員との懇談会(報告) (6) 平成29年声かけ事案の認知状況 (7) 平成30年度関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会及び研修会(静岡大会)参加について (8) 郡町村教委定例総会(6/8)について (9) 6月の小・中学校行事について
6月定例 (会場 木祖中学校)	6月20日	(1) 中学校参観・給食試食の感想 (2) 木祖中学校の現況報告 (3) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (4) コミュニティ・スクールの推進状況について (5) 木祖村就学支援の体制について (6) 中学校「道徳」教科書の選定について (7) 小中学校教職員時間外勤務・働き方改革について (8) 7月の小・中学校行事について
7月定例 (会場 木祖小学校)	7月24日	(1) 小学校参観・給食試食感想等について (2) 木祖小学校の現況報告 (3) 学校評議員会(CS運営委員会)(6/27)報告 (4) 要保護準要保護児童生徒援助費補助金申請について (5) 非違行為防止研修の取組について (6) 中学校「道徳」教科書の選定状況について (7) 木祖村いじめ防止等対策連絡協議会について (8) 成人式(8/14)について (9) 8月の学校行事について
8月定例	8月31日	(1) 全国学力状況調査結果について (2) 平成29年度木祖村教育委員会点検評価報告書について (3) 平成30年度 長野県市町村教育委員会研修総会(10/12)について (4) 元木祖中学校長 木嶋秀夫先生 死亡叙位叙勲について (5) 教育委員(1名)の改選について (6) 9月の小・中学校学校行事について
9月定例 (会場 木祖中学校)	9月28日	(1) おおとり祭参観 見学をして (2) 平成31年度 民生児童委員と学校職員の懇談会の持ち方について

		<ul style="list-style-type: none"> <li>(3) 平成30年度 長野県市町村教育委員会研修総会(10/12)について</li> <li>(4) 中3生自主学習見守り協力員について</li> <li>(5) 10月の小・中学校学校行事について</li> <li>(6) 教育七団体の要望書について</li> <li>(7) 前教育委員唐澤達夫氏の地方教育行政功労者表彰受章について</li> </ul>
10月定例	10月17日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小学校マラソン記録会を参観して</li> <li>(2) 平成30年度 長野県市町村教育委員会研修総会(安曇野大会)報告</li> <li>(3) 平成31年度 民生児童委員と学校職員の懇談会の持ち方について</li> <li>(4) 木曽郡音楽会(10/24)参加について</li> <li>(5) 小中PTA合同研修会(11/30)について</li> <li>(6) 唐澤達夫氏表彰受賞の報告 祝賀会(10/30)について</li> <li>(7) 転入生について</li> <li>(8) 11月の小・中学校学校行事について</li> </ul>
11月定例 (会場 木祖小学校)	11月30日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 給食試食会・授業参観から</li> <li>(2) 木祖小学校からの報告・1、2学期を振り返って</li> <li>(3) 木曽地域の高校の将来像を考える協議会立ち上げについて</li> <li>(4) 長野県中学生期のスポーツ活動指針作成について</li> <li>(5) 12月の小・中学校行事について</li> </ul>
12月定例 (会場 木祖中学校)	12月19日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 授業参観・給食試食会から</li> <li>(2) 木祖中学校からの報告1・2学期を振り返って</li> <li>(3) 中3平和学習(12/17)報告</li> <li>(4) 中学校に係る部活動指針(案)について</li> <li>(5) 通学路等緊急合同点検結果について</li> <li>(6) 夏休み期間のあり方についてアンケート</li> <li>(7) 1月の小・中学校行事について</li> </ul>
1月定例	平成31年1月20日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 総合教育会議(2/26)の持ち方について</li> <li>(2) 県中学生期のスポーツ活動指針 改訂版(素案)について</li> <li>(3) 全国体力・運動能力等調査について</li> <li>(4) 時間外勤務時間等調査の結果から</li> <li>(5) 平成31年度 年間行事(案)について</li> <li>(6) 2月の小・中学校行事について</li> </ul>
2月定例 (木祖村総合教育会議)	2月26日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 総合教育会議 木祖村総合教育大綱について <ul style="list-style-type: none"> <li>①学校教育(小学校・中学校)</li> <li>②社会教育(コミュニティスクール運営)</li> <li>③社会体育(すくすく倶楽部・源流トラッククラブ)</li> <li>④児童福祉(放課後児童クラブ)</li> <li>⑤予算付け関係</li> </ul> </li> <li>(2) 意見交換・情報交換</li> </ul>
3月臨時	3月15日	<ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 小中学校職員人事異動について</li> <li>(2) 転退教職員送別会について</li> </ul>

## (4)平成30年度教育委員会関係事業・会議・研修等

月	日	曜	会 議 ・ 行 事	出 席 範 囲				
				委員会	職務代理	教育長	事務局	小中学校
H30 4月	2日	月	村年度初めの式(職員辞令交付)			○		
	2日	月	消防団任命式			○	○	○
	5日	木	臨時教育委員会	○	○	○	○	
	5日	木	木祖小・中学校入学式	○	○	○	○	○
	6日	金	とちのみ保育園入園式			○		小校長
	11日	水	あいさつ運動			○		
	12日	木	中間教室こまき開室式			○		
	12日	木	公民館分館長主事会議			○	○	
	18日	水	体育協会代議員会			○	○	
	20日	金	4月定例教育委員会	○	○	○	○	
	20日	金	小中学校PTA総会・新任教職員歓迎会	○	○	○	○	○
	21日	土	すくすくスクール開校式			○	○	
	24日	火	教委連絡会(松本市Mウイング)		○	○		
	25日	水	御嶽海後援会幹事会			○		
	5月	8日	火	ソフトボールリーグ開会式			○	
9日		水	小学校民生児童委員懇談会			○		小校長
11日		金	あいさつ運動			○		
16日		水	中学校民生児童委員との懇談会			○		中校長
18日		金	定例教育委員会	○	○	○	○	
25日		金	関東甲信越静岡市町村教委研修総会(藤枝市)	○	○	○	○	
28日		月	地域図書館運営委員会			○	○	○
29日		火	町村教委連絡会		○	○		
30日		水	御嶽海後援会総会			○		
31日		木	青少年健全育成協議会総会			○	○	○
6月	7日	木	公民館分館合同委員会			○	○	
	8日	金	郡町村教委連研修総会(王滝村)	○	○	○	○	
	12日	火	あいさつ運動			○		
	12日	火	郡教科書採択研究協議会			○		
	14日	木	6月会議(～21日)			○	○	
	20日	水	定例教育委員会	○	○	○	○	中校長
	20日	水	小中教育委員会合同研修会	○	○	○	○	○
	27日	水	CS運営委員会学校評議員会			○		○
7月	2日	月	社会を明るくする運動啓発運動				○	
	3日	火	中信教育事務所主幹指導主事学校訪問					○
	4日	水	小学校音楽会	○	○	○		○
	5日	木	県町村教育長研修総会(箕輪町)(～6日)			○		
	11日	水	あいさつ運動			○		
	21日	土	日進市少年野球交流			○		
	23日	月	郡教科書採択研究協議会			○		
	24日	火	定例教育委員会(小学校)	○	○	○	○	小校長
	25日	水	7月会議			○	○	
	28日	土	源流夏まつり(台風接近のため中止)					
	29日	日	郡総合体育大会(陸上)			○	○	小校長
	30日	月	市町村教委と県教委懇談会		○	○		
31日	火	和泉究さん交流会(木祖中)			○	○		
8月	7日	火	全国高校総合文化祭総合開会式(松本市)			○		
	10日	金	8月会議			○	○	
	14日	火	成人式	○	○	○	○	○
	17日	金	御嶽海後援会役員会			○		
	20日	月	要保護児童対策地域協議会			○	○	○
	24日	金	あいさつ運動			○		
	26日	日	総合防災訓練			○	○	
	28日	火	町村教委連絡会		○	○		
	31日	金	定例教育委員会	○	○	○	○	
9月	7日	金	中学校郡陸上競技大会(荒天のため中止)					
	7日	金	9月会議(～14日)			○	○	
	11日	火	あいさつ運動			○		
	13日	木	日曜画家展審査会			○		
	15日	土	とちのみ保育園運動会	○	○	○		小校長
	23日	日	小学校運動会	○	○	○		○
	25日	火	御嶽海後援会役員会			○		
	28日	金	定例教育委員会	○	○	○	○	

	28日	金	おおとり祭(~29日)	○	○	○		○	
	28日	金	ソフトボールリーグ閉会式			○			
10月	1日	月	永島教育委員任命式		○	○			
	2日	火	御嶽海初優勝祝賀会			○			
	3日	水	町村教委連絡会		○	○			
	6日	土	日曜画家展表彰式			○			
	11日	木	あいさつ運動			○			
	12日	金	県市町村教育委員研修総会(安曇野市)	○	○	○			
	12日	金	唐澤達夫氏文部科学大臣功労表彰式				○		
	17日	水	定例教育委員会 小学校マラソン大会	○	○	○	○	小校長	
	24日	水	木曾郡音楽会	○	○	○		○	
	25日	木	村保育所運営委員会			○		小校長	
	26日	金	10月会議			○	○		
	27日	土	公民館文化祭展示会(~28日)				○		
	11月	2日	金	県国語教育学会木祖大会(木祖小・中学校)			○		○
		3日	土	駅伝大会 芸能祭			○	○	
5日		月	矢野きよ実講演会(中学校)			○	○	中校長	
12日		月	あいさつ運動			○			
12日		月	町村教委連絡会		○	○			
13日		火	文化財保護審議会研修(立科町・長和町)			○	○		
20日		火	郡特別支援連携協議会研修会			○			
20日		火	小学校通学路安全点検				○	小校長	
21日		水	来入児就学時健診			○	○	小校長	
23日		金	木祖村表彰式			○			
29日		木	11月会議			○	○		
29日		木	小中学校保健委員会			○		○	
29日		木	公民館分館長主事会議				○		
30日		金	定例教育委員会(小学校)	○	○	○	○		
30日	金	小中PTA合同研修会(斉藤惇夫氏講演会)	○	○	○	○	○		
12月	4日	火	スキー場安全祈願祭			○		○	
	6日	木	中間教室こまくさ収穫祭			○		中校長	
	11日	火	あいさつ運動			○			
	11日	火	要保護児童対策地域協議会			○	○	○	
	13日	木	12月会議(~20日)			○	○		
	17日	月	中3平和学習			○		中校長	
	19日	水	定例教育委員会	○	○	○	○	中校長	
	21日	金	安全対策協議会			○	○	○	
	25日	火	社会教育委員・公民館運営審議委員会			○	○	中校長	
	H31 1月	5日	土	消防団出初め式			○	○	○
11日		金	あいさつ運動			○			
11日		金	村保育所運営委員会			○		小校長	
15日		火	町村教委連絡会		○	○			
18日		金	定例教育委員会	○	○	○	○		
23日		水	卒業記念写真撮影			○		○	
23日		水	高校の将来像を考える協議会			○			
29日		火	町村教委連絡会		○	○			
2月	6日	水	要保護児童対策地域協議会			○	○	○	
	7日	木	行政懇談会(~19日)			○	○		
	12日	火	あいさつ運動			○			
	20日	水	文化財保護審議会			○	○		
	20日	水	CS運営委員会学校評議員会			○		○	
	23日	土	すくすくスクール閉校式				○		
	25日	月	コミュニティスクール担当者会			○	○		
	26日	火	総合教育会議 定例教育委員会	○	○	○	○	○	
	27日	水	社会教育委員・公民館運営審議委員会			○	○	中校長	
3月	4日	月	町村教委連絡会		○	○			
	5日	火	御嶽海後援会役員会			○			
	7日	木	3月会議(~19日)			○	○		
	11日	月	中間教室こまくさ卒業・修了式			○		中校長	
	12日	火	あいさつ運動			○			
	15日	金	臨時教育委員会	○	○	○	○		
	15日	金	中学校卒業式	○	○	○		○	
	16日	土	小学校卒業式	○	○	○		○	
	22日	金	転退職教職員送別会	○	○	○	○	○	
	25日	月	とちのみ保育園卒園式			○		小校長	
	26日	火	給食センター運営委員会			○		小校長	

## 2 学校教育関係

### (現状と評価)

学校の基本目標小学校は「子どもが喜んで登校できる学校づくりのために」を、中学校は「生命を大切にし、自ら伸びようとする生徒」を、それぞれ学校の教育目標として運営をしてきた。また、地域と共にある学校を見据えたコミュニティスクール組織との連携も継続的に進め、学校評議員会をコミュニティスクール運営委員会と合同で行い、公民館長をコーディネータに位置づけて活動に取り組んだ。小学校は目指す子どもの姿を「明るくのびのびとした子ども」、中学校は「生命を大切にし、自ら伸びようとする生徒」をスローガンに、ふるさと木祖村を愛し、生きる力を身につけさせることを重点に、小・中学校それぞれに個性ある学校運営計画を作成し、児童・生徒の教育活動の実践を積み重ねてきた。

### (学校評価への取組)

学校評価への取組として、3つの評価を大切にしている。一つは、学校が児童生徒の学習状況や教育課程の実施状況等に関して行う教師自身による自己点検・自己評価である。二つ目は学校生活全般について子ども達自身が行う授業評価と生活評価である。そして三つ目が、学校の教育活動全体について保護者が行う保護者評価である。この3評価の結果から、その成果や課題を明らかにしながら、学校運営や教育活動の改善を進めるために評価の考察と合わせて、保護者や地域社会に、小学校は「小学校だより」、中学校は「おおとり」で公表し、保護者には校長講話によって丁寧に説明もし、村民には、隣組回覧を利用して地域に公表している。学校評議員会を2回開催し、学校評価の結果や体力テストの結果等を説明し、意見交換の場も設定している。

### (課題)

児童生徒数が減少する中、平成16年度より、小中学校全学年単級になって久しい。保育園から中学卒業まで同じ構成のまま子ども達の学校生活が続くこととなり、固定化されやすい人間関係の中で、競争心、向上心の衰退にならないように指導を心がけることが重要になっている。小中学校とも「木祖っ子クラブ」や「おおとりの時間」など、学年を超えた縦割り学習活動を積極的に取り入れたカリキュラムを位置づけ、一定の成果を上げている。小学校では令和2年度から完全実施される英語の教科化に伴い、木祖っ子クラブ等の時間確保へのしわ寄せが懸念される。限られた時間数の中で、将来的な展望に立ちカリキュラム編成を考えて行くことが必要である。29年度末中学校卒業生は15名、30年度小学校入学生は20人で、児童生徒数は、前年より5人の増となったが、今後は徐々に減少へと推移するようになる。生徒数が減少することで危惧される学校運営、児童会や生徒会活動、部活動、PTA組織等、現行どおりとは行かない状況での対策が課題である。

29年度後半より、学校への不適応傾向を有した児童・生徒が認められ、30年度に到っても長期欠席状況があり、家庭はもとより、外部機関とも連携しながら、ねばり強く継続的に向き合っていくことが課題である。また、発達障害を抱える児童が目立っている現状とも合わせて、どのような指導、支援体制が望ましいかを子ども達一人ひとりに寄り添って構築していくことが求められている。

#### (1) 学級編成、児童生徒の状況 (平成30年4月1日実数)

本村児童生徒数も社会全体の少子化の進行により年々減少傾向であるが、小学校児童数は昨年に比べ6名の減、中学校生徒数は10名増となった。学級数は小学校は各学年1クラスの6学級と特別支援学級2クラスの8学級で児童数は135名、中学校は各学年1クラスと特別支援学級1クラスの4学級で生徒数は66名となった。

平成30年度 木祖小学校・木祖中学校 児童・生徒数 (平成30年4月1日実数)								
木祖小学校					木祖中学校			
学年	学級数	男	女	計	学級数	男	女	計
1学年	1	7	13	20	1	11	14	25
2学年	1	10	15	25	1	9	11	20
3学年	1	9	10	19	1	11	10	21
4学年	1	9	12	21				
5学年	1	11	11	22				
6学年	1	15	13	28				
特別支援	2	9	3	12	1	1	0	1
合計	8	61	74	135	4	31	35	66

小・中学生児童・生徒数の推移と見込 (R1.7.17現在)									
区分	年度 学年	H29年度 2017年度	H30年度 2018年度	R1年度 2019年度	R2年度 2020年度	R3年度 2021年度	R4年度 2022年度	R5年度 2023年度	R6年度 2024年度
小学校	1	25	20	21	17	14	21	8	18
	2	19	25	20	21	17	14	21	8
	3	21	19	21	20	21	17	14	21
	4	22	21	20	21	20	21	17	14
	5	28	22	21	20	21	20	21	17
	6	26	28	23	21	20	21	20	21
	小計	141	135	126	120	113	114	101	99
	比率	104.4	100	93.3	88.9	83.7	84.4	74.8	73.3
中学校	1	20	25	27	23	21	20	21	20
	2	21	20	25	27	23	21	20	21
	3	15	21	21	25	27	23	21	20
	小計	56	66	73	75	71	64	62	61
	比率	84.8	100	110.6	113.6	107.6	97.0	93.9	92.4
小中学校 総合計	197	201	199	195	184	178	163	160	
全体比率	98.0	100	99.0	97.0	91.5	88.6	81.1	79.6	

- 1) 小学生はH29年度の141名、中学生はR2年度の75名を頂点に減少傾向となる。
- 2) 小学生はR2年度までは120名以上、中学生はR3年度までは70名以上を維持するが、R4年度以降は全体でH30年度比較で90%を割り込む見込になっている。
- 3) R5年度の小学校入学児童が8名と極端に少ないため、今後の動向に注視する必要がある。

#### (2)通学対策

小木曾・菅地区の児童生徒のスクールバスによる通学を援助するため、スクールバスの運行委託費用として小学校 8,521千円、中学校 5,681千円を支出した。また、スクールバスの運行経路が確保できない児童について、「たんぼぼ号」で通学の足の確保を行っている。

#### (3)就学援助費

準要保護児童・生徒世帯に合計629千円を扶助した。

#### (4)学校給食

木祖村学校給食センターで小・中学校児童・生徒・教職員に対し、栄養士1名、調理員4名体制で、小学校200日、中学校199日の給食を供給した。

児童・生徒のより一層の安全安心確保の観点から、給食食材について、毎月の放射能検査のほかに長野県学校給食安心安全対策事業を実施した。地産地消事業として、生産者グループ「愛菜」と連携し、地元産野菜を給食食材に提供している。

#### (5)教員住宅

現在、19戸の教員住宅が教育委員会の管理となっている。このうち、教職員5名、一般8名の入居があり、2,432千円の貸付け収入があった。

### 3 社会教育、公民館関係

#### (現状と評価)

教育委員会と公民館が連携を保って生涯学習を進めるために様々な学級や講座を行ってきた。やらまい会では、木曾郡内、村内の史跡巡りや、竹細工やパッチアート、折り紙を使った物づくり体験、善光寺と美術館を巡る県内研修を実施した。また、新たにすくすく倶楽部と共催でこめ作り体験を開催。田植え、稲刈り、脱穀、餅つき体験を行い、多くの子供たちが参加した。

文化祭展示会は各分館を中心に行い、各会場を回るシャトルバスの運行などにより、来場者は増加している。

芸能祭は出演団体が12団体となり参加団体数は増加した。村外の団体も参加し、ダンスや大正琴の発表などが行われた。

源流図書館は開設10年目を迎えた。H30年度は貸出冊数については、前年度比8%の増となり、来館者数は36%増となった。

#### (課題)

教育委員会や公民館で行う事業については参加者はやや固定化している傾向にある。様々なサークル活動が活発に行われ、新たに設立され活動を行っているサークルもある。村民センターや転作研修センターなどの公共施設を使用している定期的な活動をしている団体が多くなり、曜日ごとに使用団体を調整したりしている。

本館、分館どちらも開設学級や講座に参加者が少なくなる傾向が見え、村外からの講師の派遣を考えたり、よりニーズに適った興味を持てる学級や講座を開設する必要がある。ミニ盆栽教室や英会話講座等、男性も参加しやすい講座を開講するが、男性の参加者は1.2名程度である。

文化祭展示会は各分館ともに出展者の減少が課題となっている。学校文化祭でのPTA作品の展示や、各分館でも「切り絵教室」などの開催に合わせて作品の出展を行うなどの企画を進めた。

10年目を迎える源流図書館の存在については村民への周知は図られるようになってはいるが、利用者数をさらに増加させることが課題である。図書館だよりの発行や来館者へのアンケート調査、学校参観の機会などに学校やPTA役員からも利用について連絡などを行っている。今後は急激な増加を期待するのではなく、現在の利用者の満足度を向上させな

#### (1) 社会教育・公民館関係の会議、行事一覧

今年度も社会教育委員、公民館分館運営委員を中心に各種研修会への参加や交流会を通じて各委員の資質の向上に努めた。また公民館主催行事への運営に協力をいただいた。

平成30年度 社会教育・公民館関係の会議・事業一覧			
月 日	会 議 ・ 事 業 名	開 催 場 所	参加者数
4月12日	木祖村社会教育委員の会議(分館長主事合同)	村民センター	17名
5月30日	中信地区社会教育委員連絡協議会総会・研修会	長野県総合教育センター	2名
8月14日	木祖村成人式	村民センター	対象25名
10月27日	第45回木祖村文化祭展示会(～28日)	村内6会場	延1,600人超
11月3日	第45回木祖村芸能祭	村民センター	12団体
11月11日	第57回木曾郡公民館大会	三岳交流促進センター	12名
12月25日	社会教育委員及び公民館運営審議会臨時会議	木祖村役場	7名
2月27日	社会教育委員及び公民館運営審議会会議	木祖村役場	6名

#### (2) 公民館学級講座実績

年度当初策定した社会教育計画に基づき、「だれでも、いつでも、どこでも、どんなことでも」参加できる、学習できる、集まれる、ふれあえる、といった環境づくりに努めた。

実績詳細はP20公民館学級講座開設台帳参照

### (3)木祖村型コミュニティスクール

#### (現状と評価)

社会教育と学校教育との連携という視点から、コミュニティスクール（CS）の活動を推進してきた。CSの導入については、国、県からの要請に対応しての正式な取組という面もあるが、木祖村では、中学校で代表される総合的な学習の時間を利用した「おおとりの時間」や、小学校社会見学や遠足への付き添いボランティアの同行、花咲く村づくりの会が参画しての学校花壇の造園活動などは、制度導入以前からごく普通の教育活動として行われていて、大きな教育成果を上げてきたという評価も得ていた。そうした実績を土台として、さらにコーディネータの公民館長を窓口にして学校側と支援ボランティアとの連携を取りながら、支援を受ける学校側はもちろんのこと、支援する大人の側も子ども達と学習活動ができて良かったと言える活動を増やしていくようにしている。その際に、できる限り学校側が負担増とならないように配慮することに心がけてきた。CS活動の振り返りと内容充実については、CS運営・学校評議員会を立ち上げ、その中で情報共有しながら子ども達にとってより良い学習内容が提供できるようにしている。主な実績は、下表に示した。本年度から実施を始めた中学校道徳でのゲスト講話は、生徒達はもちろんのこと外部講師の方々からも参加して良かったという声が聞かれて成果を上げる取り組みとなった。

#### (課題)

今後、少子高齢化がさらに進む中で、学校支援ボランティア人材をどのように確保していくかは大きな課題である。子ども達のため、学校のためにひと肌脱いで協力をお願いしない人材を広く求める営みをCS運営上にどのように位置づけるか、学校が目指す教育目標、指導目標に合わせて協力できるようにしたい。実際のところ「学校は敷居が高い」と感じている大人も多い実態もある中で、誰でも気軽に学校に足を運べるような雰囲気作りをしていくことも課題である。これまでの取り組みの中から、高評価を得ているものについてはさらに増進を、そして、新たな事業については学校側のニーズに応じる形で最大限対応できるようにしていきたい。

(小学校での主な事業)			
	実施事業名	事業内容	実施日
①	花咲く村づくりの会と取り組む造園活動	村内で伝統的に行われている花咲く村づくりの会会員の指導を受けながら、学校花壇造園に取り組む	通年
②	社会見学 遠足付き添いボランティア	各学年行事へ同行しながら、史跡にまつわる説明や、支援をするボランティア活動	通年
③	農業体験	休閑栽培ハウスを利用したユリ栽培 事業者及びJA職員の指導を受けて活動	5～9月
④	家庭科学習ボランティア	調理実習、裁縫についての指導、支援見守り	通年
⑤	朗読ボランティア	学校からの要請を受けて子ども達への絵本の読み聞かせ	通年
(中学校での主な事業)			
	実施事業名	事業内容	実施日
①	おおとりの時間への指導参加	村の伝統である「お六櫓」制作、「藪原祭り」への伝統伝承を目的に縦割り班編制の中学生への指導。社会福祉協議会の支援をいただいたの交流活動	5～9月
②	地元を知る職場体験地域学習	地元産業を理解し、キャリア教育推進の一助とする取組。受け入れ協力22事業所。	夏休み中2日間
	・マルオカ工業 ・湯川酒造 ・まとと食品 ・味噌川ダム管理所 ・こだまの森奥木曾グリーンリゾート ・きそむら道の駅 ・とちのみ保育園 ・特別養護老人ホームサニーヒルきそ ・デイサービスセンターそほく ・社会福祉協議会・花きユリ栽培 ・御嶽はくさい栽培 ・JA木曾畜産支援センター ・木曾藪原石油販売小木曾給油所 ・放課後児童クラブ ・焼肉権兵衛 ・木曾土建工業・藪原郵便局 ・笑ん館 ・角田ナーセリー ・木曾建設労働組合		
③	戦争体験者と語る平和学習	中3生と「語り継ぐ戦争の恐怖」(冊子)を読み合わせ。戦争体験を聞きながらの意見交流会。	12月
④	「道徳」学習支援のゲスト講話	道徳授業のゲストティーチャーとして全校生徒に15分程度の講話を提供。	6回実施
	・稲木道代(ダム管理署長)・圃中登志彦(観光協会専務)・坪井祐(奥木曾グリーンリゾート)・水本豪(木曾土建工業社長)・湯川早苗(木祖村社会福祉協議会)・唐澤一寛(木祖村長)		
⑤	パソコンタブレットを使った自主学习	中3生の進路実現に向けた自主学习の場を、土曜日に学校を開放して行い、それに伴う見守り支援。タブレットを用いて可能な自学自習を中心に実施。 ・中3生21人中13人が参加。かかわった見守りボランティア9名。	10月～3月 16回実施

#### (4) 青少年健全育成関係

7月の啓発活動は社会を明るくする運動と合同で行い、JR利用者を中心に啓発活動を実施した。

月日	会議・事業名	開催場所	参加者数
5月31日	青少年育成連絡協議会総会	役場	29名
7月 2日	強調月間啓発活動社会を明るくする運動	藪原駅	14名
11月19日	環境点検村内巡回	村内一円	1名

#### (5) 読書活動推進関係

平成21年度開館した地域図書館を中心に、児童生徒をはじめ村民にも読書活動が高まるよう、図書のみならず生涯学習情報の場として充実を図っている。ここ5年間の貸出冊数、来館者数を見てみると、H29年度は減少したものの全体として増加傾向にあり、ことにH30年度についてはこれまでのなかで最も多くなり、図書館利用への関心の高さが向上していると考えられる。

運営状況：平日午後1時～6時開館 土日午前9時～午後5時開館、月曜定休日

平成30年度開館日数：289日 新規利用登録者数：13名 計393名

利用冊数：一般1,862冊＋中学生114冊

図書館協力員（有償ボランティア）10名程が半日を単位に交代勤務している。

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
4月	138	115	179	152	150
5月	127	119	157	135	167
6月	149	151	160	170	184
7月	140	154	162	174	178
8月	148	144	167	146	150
9月	135	137	173	157	174
10月	129	183	178	144	190
11月	122	155	190	123	185
12月	130	172	173	152	172
1月	123	191	160	139	167
2月	121	153	120	131	140
3月	48	67	96	101	119
合計	1,510	1,741	1,915	1,724	1,976

	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度
4月	51	45	54	46	69
5月	40	54	66	53	57
6月	60	58	57	55	61
7月	48	72	51	57	70
8月	58	70	51	55	62
9月	41	58	60	46	74
10月	53	73	60	41	89
11月	59	55	66	49	79
12月	41	57	58	49	78
1月	44	63	54	54	59
2月	56	71	60	66	87
3月	31	32	31	38	48
合計	582	708	668	609	833

#### (6) 芸術文化関係

木祖村文化祭展示会と芸能祭は第45回を迎えた。展示会は10月27～28日 村内6会場で、芸能祭は11月3日に木祖村村民センターで開催した。展示会、芸能祭とも、日ごろの公民館活動やサークル活動の発表の場としての定着をしてきた。

展示会は出品作品が減少傾向にある中、小学生陶芸作品や木祖村公民館陶芸教室など各講座での作品展示、各分館で行った切り絵教室などの企画による作品展示を実施できた。

平成30年度芸能祭は、12団体の参加となった。村外から2団体が参加し、ダンスや大正琴など普段は見る機会のない発表も行われた。

木曾文化公園自主事業企画実行委員会への運営協力。

各種サークル活動の支援(マナビー通信による情報提供)

#### (7) 成人式関係

成人式は8月14日村民センターにて開催

対象者 平成9年4月2日～平成10年4月1日生まれ 25名

【当日出席者】

成人者 20名 来賓 21名 恩師 5名 主催者16名 合計 62名

## 4 社会体育関係

(現状と評価)

源流スポーツ大学は、「シェイプアップ教室」、「体力アップ教室」、「ヨガ教室」、「エアロビ教室」、「水中運動教室」、「男の筋力トレーニング体験」を行った。水中運動教室は木曾町温水プールの完成に伴い復活した教室である。教室全体では参加者が増加したが、男性の参加者が増えない状況である。

一方で、小学生を対象とした「すくすく倶楽部」には、学校児童の約75%の子どもが登録している。子どもの数が減る中で地域で遊ぶ機会が減ってきていることが背景にあると思われる。

村内一周駅伝大会は第60回となる節目の大会であった。参加チーム数は、5区間 28チーム、10区間 4チームで前回大会を上回る参加数となった。藪原地区の自治会から選手が集められないといった声があり、平成25年度からは 5区から7区までが藪原下町チームとして参加した。

平成27年度から村民登山を企画し、30年度は「御嶽山」登山を計画（21名参加予定）していたが、台風の接近に伴い残念ながら中止とした。

(課題)

源流スポーツ大学の参加者数は若年層の参加者も増え年々増加はしているが、前からの課題である男性の参加者が増えない状況に変わりはありません。男性の参加しやすい・参加したい元気な体づくり、健康な体づくりができる内容の教室を検討していく。

村民の趣味の多様化により、スポーツ団体が増え、個々の団体の構成員が減っていく傾向がある。特に少子化、高齢化の進む中で少年部門の団体が減少し、維持が困難な状況も生じてきている。老若男女誰でも楽しめるスポーツ「ニュースポーツ」の導入なども検討していく。

村内一周駅伝大会については、藪原地区の自治会のように選手が集められないといった傾向があり、今後、合同チームでの参加などへ移行する可能性もある。一方で、村外者による団体の参加も数チームある。

### (1) 社会体育関係会議等

今年度も、体育協会については年間計画に沿って役員会等を開催し、その都度各部へ報告や依頼をした。また、郡総体関係についても積極的な参加を依頼し、反省事項等は郡の会議へも報告をした。

### ○体育協会

平成30年度 体育協会関係会議・事業

月日	会議・事業名	開催場所
4月18日	村体育協会代議員会	役場2F大会議室
5月12日	木曾郡体育協会定期総会	上松町
7月29日	木曾郡総合体育大会開会式	大桑村
9月3日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
10月24日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月15日	村体育協会役員会	役場2F大会議室
3月17日	木曾郡総合体育大会冬季スキー大会	王滝村

○村内一周駅伝大会

第60回節目の記念大会となった村内一周駅伝大会は、11月3日に行われ、参加チーム数も、5区間28チーム、10区間4チームとなり、盛大に開催することができた。

第60回(H30年度)木曾川源流村内一周駅伝大会 参加チーム等

出場チーム		登録者数	役員等	人数
5区間の部	28チーム	140名	大会役員	14名
10区間の部	4チーム	40名	競技役員	93名
補欠登録者		35名	交通安全協会	50名
監督・代表者		35名		157名
計		250名	総合計	407名

第60回(H30年度)木曾川源流村内一周駅伝大会 関係会議

月 日	会議・事業名	開催場所
9月18日	駅伝大会打合せ会議	役場2F大会議室
10月24日	駅伝大会競技役員打合せ会議	役場2F大会議室
10月26日	駅伝大会最終監督会議	役場2F大会議室
11月3日	第59回村内一周駅伝大会	村内コース
11月26日	駅伝大会反省会	役場2F大会議室

○社会体育施設使用調整会議

平成30年度 社会体育施設使用調整会議

月 日	会議・事業名	開催場所
7月20日	使用調整会議(8~11月)	役場2F大会議室
11月26日	使用調整会議(12~H30.3月)	役場2F大会議室
3月15日	使用調整会議(H30.4~7月)	役場2F大会議室

(2)スポーツ団体等

スポーツ団体は体協を中心に22団体が活動をしている。活動は各団体でそれぞれ行っており、教育委員会として相談や依頼を受け対応をしている。

○体育協会(11種目)

スキー部 野球部 剣道部 ソフトテニス部 射撃部 弓道部 ソフトボール部 バドミントン部 ゴルフ部 卓球部 マレットゴルフ部

○体育協会以外のスポーツ団体

ソフトバレー愛好会 軽スポーツ同好会 バスケットボールサークル フットサルクラブ 男子バレーボール

○ジュニアスポーツ団体

学童野球 少年野球 ジュニアスキークラブ ジュニア卓球クラブ 少年剣道部  
ジュニアフットサルクラブ

(3)社会体育施設利用状況

○木祖村運動場

定期利用 体協野球部 体協ソフトボール部 学童野球 少年野球

○木祖村テニスコート

定期利用 体協ソフトテニス部

○社会体育館・弓道場

定期利用 体育協会(剣道部・弓道部・バドミントン部・卓球部)

体協以外(ソフトバレー愛好会・源流スポーツ大学・バスケットボールサークル・男子バレーボール)

ジュニア(ジュニア卓球クラブ・少年剣道部・ジュニアフットサルクラブ)

雨天時のみ(学童野球・少年野球)

冬期間のみ(体協野球部・体協ソフトボール部・体協ソフトテニス部・学童野球・少年野球)

その他 合宿等

※夏場は合宿等の利用が多いが、村内スポーツ団体等の利用が出来ない時も見受けられるため、今後の利用方法や村外予約関係についても検討をしていく必要がある。

## ○学校開放施設

- ・木祖小学校体育館・校庭  
利用団体（学童野球・軽スポーツ同好会・すくすく倶楽部・バスケットボール教室・陸上教室）
- ・木祖中学校体育館・校庭  
利用団体（ジュニアフットサルクラブ・体協バドミントン部）
- ・その他 合宿等

## (4)スポーツ大会・教室等

スポーツ教室については、小中学生対象の教室を中心に開催した。また、健康づくりの一環として、一般村民向けへ健康づくりや身体づくりの教室を開催した。体育の日を中心に村民体育祭を開催した。

## ○村民体育祭

（開催日）

- 教委主催 ハイキング大会・ソフトバレー大会（共催）・フットサル大会（共催）  
各部主催 野球大会・少年剣道大会・ソフトテニス大会・射撃大会・弓道大会・バドミントン大会  
ゴルフ大会・卓球大会・マレットゴルフ大会  
・その他の大会・教室は別途一覧参照

## ○村民登山

9月4日開催予定していた「御嶽山」登山であったが台風21号接近に伴い中止。

## 5 文化財保護事業関係

### （現状と評価）

文化財保護審議会の活動については、郡及び県の研修会への参加、村内文化財パトロールによる状態の確認を行った。

文化財保護法の改正により文化財保護事務を教育委員会から首長部局に移管し自治体がまちづくりや観光といった他の政策分野との一体的な文化財行政をやりやすくできる法改正が行われたことから、今後の村づくりの状況も鑑みて検討をしていく必要がある。

### （課題）

木曽地域が日本遺産に認定され3年が経過し、今後も文化財を活用した地域振興について様々な角度から観光産業との連携も引き続き進めていく必要がある。

郷土館等の文化財伝承施設や文化財の掘り起しについて、専門職員の配置がないことから文化財保護審議委員に頼る現状である。今後は学芸員の配置など後世につなげていく体制づくりを今後も検討しなければならない。

## (1)文化財保護審議会

審議会の開催（3回）のほか、視察研修、文化財パトロール（グループごと随時）などを行った。

### 【審議会・研修会等】

年 月 日	内 容	場 所
平成30年5月15日	第1回文化財保護審議会	役 場
平成30年5月28日	木曽郡連絡協議会研修総会	役 場
平成30年6月25日	第2回文化財保護審議会・現地調査	村 内
平成30年11月11日	米屋旅館現地調査	村 内
平成30年11月13日	文化財保護審議委員会研修	長和町
平成31年2月20日	第3回文化財保護審議会	役 場

## (2)木祖村郷土館

平成30年度の有料入場者数及び入場料は、下表のようであった。

### 【木祖村郷土館有料入場者数等】

一般	団体	小中学生	合計
300円	200円	100円	
151人	35人	0人	186人
45,300円	7,000円	0,000円	52,300円

## 6 放課後児童クラブ事業関係

(現状と評価)

ここ近年登録人数、一年間の利用平均人数は横ばいである。高学年の利用は減少気味であるが、その反面低学年の利用は増となり対応などに手がかかるため支援員は基本4名体制である。支援員と月1回打ち合わせ会を通し、行事や子どもについて協議している。また専門のコーディネーターを交え勉強会もしている。木曾郡では各クラブと連絡会を通し、情報交換や学習会を月1回開催している。

(課題)

小学校の余裕教室を利用し実施しているが、参観日、長期休暇開所日で利用人数が増加した場合は一室では困難である。配慮が必要とする児童が増加しており、専門的な関わりが可能な支援員が必要であり、支援員の確保と質をあげていくための研修が必要である。

### ○ 放課後児童クラブ利用状況

木祖村放課後 児童クラブ利用状況														
1. 平成25～30年度登録児童数								2. 平成25～30年度開所日数						
年度	1年	2年	3年	4年	5年	6年	合計	年度	登校日	長期休	振替休	土曜日	合計	
25	16	18	5	13	4	1	57	25	208	29	4		241	
26	18	14	16	3	11	3	65	26	207	29	4	11	251	
27	8	17	13	16	3	10	67	27	207	29	4	11	251	
28	12	7	15	6	8	0	48	28	207	31	4	11	251	
29	11	10	7	12	6	5	51	29	203	32	4	11	251	
30	11	14	11	6	4	2	48	30	204	28	6	13	251	
3. 平成25～30年度平日保育日数、児童人数														
年度	区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
25	日数	18	21	19	17	8	18	21	20	19	16	19	12	208
	延人数	285	244	281	245	106	234	278	301	314	190	230	192	2,900
	平均人数	16	12	15	14	13	13	13	15	17	12	12	16	14
26	日数	18	20	20	17	9	19	20	18	19	16	19	12	207
	延人数	300	310	341	330	183	364	378	374	352	326	297	168	3,723
	平均人数	17	16	17	19	19	19	19	21	19	20	16	14	18
27	日数	19	18	21	17	9	18	20	19	18	14	20	14	207
	延人数	256	227	237	182	99	175	213	199	181	128	196	112	2,205
	平均人数	13	13	11	11	11	10	11	10	10	9	10	8	11
28	日数	18	18	21	17	7	19	19	21	18	17	20	12	207
	延人数	177	158	149	123	44	134	133	183	155	116	128	74	1,574
	平均人数	10	9	7	7	6	7	7	9	9	7	6	6	8
29	日数	18	20	21	16	6	19	20	20	18	16	19	11	204
	延人数	219	218	225	169	62	191	183	196	220	153	163	92	2,091
	平均人数	12	11	11	11	10	10	9	10	12	10	9	8	10
30	日数	17	21	20	17	8	16	21	20	18	16	19	11	204
	延人数	192	156	151	130	82	164	218	206	212	167	209	105	1,992
	平均人数	11	7	8	8	10	10	10	10	12	10	11	10	10

4. 平成25～30年度振替休業日数、児童数								
年度	区分	3月	6月	7月	9月	10月	11月	合計
25	日数		1	1	1	1		4
	延人数		13	3	4	9		29
	平均人数		13	3	4	9		7
26	日数		1	1	1	1		4
	延人数		9	3	12	13		37
	平均人数		9	3	12	13		9
27	日数		1	1	1	1		4
	延人数		2	3	3	1		9
	平均人数		2	3	3	1		2
28	日数	1	1	1	1	1		5
	延人数	3	1	3	3	6		16
	平均人数	3	1	3	3	6		3
29	日数	1	1	0	1	1		4
	延人数	9	8	0	6	8		31
	平均人数	9	8	閉所	6	8		6
30	日数	1	1	1	1	1	1	6
	延人数	6	5	2	4	8	11	36
	平均人数	6	5	2	4	8	11	6

5. 平成28～30年度土曜日開所日数、児童数						
月	28年度		29年度		30年度	
	日数	延人数	日数	延人数	日数	延人数
4	1	1			1	1
5	1	1			2	1
6	1	1	2	3	1	1
7	1	1	3	3	2	1
8	0	0			1	1
9	1	1			1	1
10	1	2	1	1	1	1
11	1	21	1	12	1	1
12	1	1	1	1	1	1
1	1	1	1		0	1
2	1	2	1		1	1
3	1	1	1		1	1
合計	11	33	11	20	13	12

6. 平成25～30年度長期休業日数、児童数								
年度	区分	1月	3月	4月	7月	8月	12月	合計
25	日数	3	8	3	4	11	0	29
	延人数	36	200	46	105	173	0	560
	平均人数	12	25	15	8	16	0	19
26	日数	3	10	3	4	9	0	29
	延人数	28	155	52	107	217	0	559
	平均人数	9	16	17	27	24	0	19
27	日数	4	8	2	4	10	1	29
	延人数	14	58	22	84	164	3	345
	平均人数	4	7	11	21	16	3	12
28	日数	3	9	2	2	14	1	31
	延人数	7	84	12	27	175	3	308
	平均人数	2	9	6	14	13	3	10
29	日数	3	9	2	3	13	2	23
	延人数	18	74	23	37	166	11	329
	平均人数	6	8	12	12	13	6	14
30	日数	2	8	3	3	11	1	28
	延人数	16	87	34	37	130	6	310
	平均人数	8	11	11	12	12	6	11

## 7 主要建設工事等(施設整備・管理・修繕・備品購入)

教員住宅は、桜木町教員住宅の浴室修繕と網戸の張替えを行い、泉町教員住宅の1棟2世帯分を解体撤去した。教員住宅の維持管理については管理形態も含め検討している。

小学校は、工事関係についてはプールろ過機の改修(取替)工事を実施し、学校玄関前のアプローチの防滑塗装工事、音楽室のLED化工事を行った。また、ランチルームの椅子・机を入れ替えし、図書館の書架を購入、テーブルを更新した。

中学校については、体育館の雨漏り改修工事、門柱・擁壁の補強改修工事を行い、土俵マットを購入した。

小中学校の空調設備工事の設計業務を行った。

給食センターに真空冷却機を新規に導入した。

### 【主要建設工事等一覧】

支出科目	事業名	請負業者名	事業費
教育総務費	木祖小学校教員住宅浴室修繕及び網戸張替え工事	奥建	438,292円
教育総務費	泉町教員住宅解体工事	西野建築(株)	2,322,000円
小学校費	小学校プールろ過機改修工事	奥原建設工業(株)	9,828,000円
小学校費	小学校玄関前アプローチ防滑塗装工事	木曾土建工業(株)	1,911,600円
小学校費	木祖小学校音楽室LED化工事	岩原電気工事	543,348円
小学校費	小学校音響システム導入事業	(株)CUBE	271,600円
小学校費	小学校ランチルーム机・椅子購入事業	チアフルベル	1,376,352円
小学校費	校用備品書架特注購入	木祖産業協同組合	604,800円
小学校費	図書館テーブル更新	古屋商店	414,720円
中学校費	中学校体育館雨漏改修工事設計監理業務	奥原建設(有)	251,640円
中学校費	中学校体育館雨漏改修工事	(有)手塚建築所	516,240円
中学校費	木祖中学校門柱等補強改修工事	木曾土建工業(株)	302,400円
中学校費	土俵マット購入	(株)マルマツ	200,880円
小・中学校費	小中学校空調設備工事設計業務	奥原建設(有)	4,082,400円
学校給食費	学校給食センター真空冷却機導入事業	信越厨房(株)	3,844,800円

## 8 教育委員会関係委員名簿

### ○教育委員

教育長	青木 信一
職務代理	永島 芳晃
委員	川口 明
委員	笹川 美穂
委員	栗屋 佳洋

### ○学校評議員

鈴木 正弘	連合自治会長
原 悦子	民生児童委員協議会長
柳川 浩司	学識経験者
青木 昭好	元PTA会長
篠原はるか	現PTA代表

### ○文化財保護審議会委員

会長	柳川 浩司
副会長	松原 秀幸
委員	青木 正洋
委員	大藏 茂
委員	北川 聰
委員	久保畠賢一
委員	澤頭 修自
委員	湯川 喜義

### ○社会教育委員

代表	勝野 次男
委員	青木 恭一
委員	久保田きよみ
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	松原 基代
委員	和田 宏

### ○公民館運営審議会委員

委員	林 孝
委員	青木 恭一
委員	久保田きよみ
委員	原 悦子
委員	辺見 元孝
委員	松原 基代
委員	和田 宏

### ○公民館

本館	公民館長	勝野 次男
藪原分館	分館長(副公民館長)	内山 文彦
	副分館長	牛丸 昭
	主事	村井 千秋
小木曾分館	分館長(副公民館長)	永瀬 健弘
	副分館長	青木 利徳
	主事	草刈 成雄
菅分館	分館長(副公民館長)	木山澤福夫
	主事	奥原加志子
わら原分館	分館長	青木 求
	主事	田上 利久
吉田分館	分館長	中村 和徳
	主事	海戸 昭彦

### ○スポーツ推進委員

辺見 元孝
上野あやみ
寺平 單
原 智恵
奥原 健

※H30.9/1～

9 公民館・社会教育・社会体育関係事業一覧

○平成30年度 教育委員会・公民館学級講座（社会教育）

平成30年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座開催台帳								社会教育編	
講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数	内容	参加費	会場	備考
家庭教育学級	家庭	8/28	三井 純世	とちのみ保育園保護者	48	講演		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
ミニ講座	家庭	5/24	林 愛子	保育園入園前の子どもと保護者	9組	ブリザーブドフラワー講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		6/4	森下 静香	保育園入園前の子どもと保護者	9組	ヘアカット講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		6/12	奥谷 佳奈	保育園入園前の子どもと保護者	12組	骨盤体操講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		6/25	島口 今日子	保育園入園前の子どもと保護者	5組	ドライフラワー講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		11/28	島口 今日子	保育園入園前の子どもと保護者	8組	ドライフラワー講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		12/11	奥谷 佳奈	保育園入園前の子どもと保護者	10組	骨盤体操講座		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
		1/24、2/5、2/21	小塚外 郷江 原悦子	保育園入園前の子どもと保護者	延べ14組35人	入園グッズづくり		子育て支援センターみやのもり	支援センター共催
やらまい会	一般	5/16		村内一般	14名	郡内研修～木曾郡の文化財・史跡巡り～			
		5/20			10	”終活”講演	2,440		出前講座・塩尻市施設見学
		6/21	塚原 直幸		11	介護保険制度の勉強会			
		7/29	柳川浩司		15	ふるさと発見講座① 藪原・わら原探索			
		8/23	初秋 一延		15	物づくり体験①～竹細工をやってみよう～			定員15名
		9/12	青木 瑞穂		15	音楽教室～歌って元気はつらつ～			
		10/6	柳川浩司		8	ふるさと発見講座② 小木曾・菅・吉田の探索			
		11/14			38	県内研修～善光寺と美術館巡り～	1,700		定員45名
		12/12	林 愛子		10	物づくり体験②～クリスマスアート～			定員10名
		1/9	川口 幸子		10	物づくり体験③～パッチワーク～	200		定員10名
		2/24	柳川 悦子		8	手話教室～簡単な手話の表現～			定員15名
		3/6	林 理子		9	物づくり体験④～折り紙を使って作品作り～			定員10名
		平和学習			10/4		村内一般	11	中学2年生と学ぶ平和学習
	12/17			村内一般	21	中学3年生平和学習		木祖中学校	中学3年生と教習科職員を呼び
陶芸教室	趣味	5月～9月	高木 勇	村内一般	16		3,000	小学校図工室	実技
こめ作り体験(田植え)	一般	5/20		村内一般	36	田植え		小木曾	すくすく倶楽部共催
こめ作り体験(脱穀)	一般	10/21		村内一般	32	脱穀		小木曾	すくすく倶楽部共催
こめ作り体験(もちつき)	一般	12/2		村内一般	45	もちつき体験 試食		村民センター	すくすく倶楽部共催
英会話教室	趣味	前期:5月～6月	ALT	村内一般	8			笑ん館	実技、定員10名
		後期:9～10月			7				
地域図書館講座	一般	8/21		村内一般	10	パーソナルカラー講座		木祖小学校	
	一般	10/22		村内一般	10	ラッピングギフト講座		木祖小学校図書館	

○平成30年度 教育委員会・公民館学級講座（社会体育）

平成30年度 木祖村教育委員会・公民館学級講座等開催台帳

講座名	区分	開催日	講師	対象者	参加人数等	内容	参加費	会場	備考
すくすく倶楽部	体育他	4月～3月	辺見元孝	小学生	108名(登録数)	学校体育の延長としての運動教室及び体験事業等	500	小学校体育館他	別紙参照
シェイプアップ教室	健康	5月～7月	辺見元孝	村民一般	18名	効率の良い運動で脂肪の燃焼を目指す	1,500	社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
体力アップ教室	健康	9月～11月	辺見元孝	村民一般	9名	個人の能力に応じた運動により体力増進		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
エアロビ教室	健康	5月～9月	平井峰子	村民一般	22名	エアロビクス		小学校体育館	10回開催 源流スポーツ大学
ヨガ教室	健康	5月～9月	武井有佳子	村民一般	16名	ストレッチヨガ		社会体育館	10回開催 源流スポーツ大学
水中運動教室	健康	5月～12月		村民一般	14名	水中運動	600/1回	木曽町温水プール	20回開催 源流スポーツ大学
男の筋力測定 トレーニング体験	健康	5月・10月		村民一般	2名	筋力測定・ストレッチ体験・トレーニングジム体験		木曽町 トレーニングジム	2回開催 源流スポーツ大学
社会体育館開放	健康	12月～3月		村民一般		冬季ウォーキング用に社会体育館開放		社会体育館	源流スポーツ大学
源流TC	体育	通年	教育委員会	小4～6年	27名	陸上大会及び体力アップをめざした練習		小学校校庭 小学校体育館	
第16回ソフトバレーリーグ戦 (第1節)	体育	5月～7月		村民一般	6チーム	総当たり戦	1チーム 500	社会体育館	
第16回ソフトバレーリーグ戦 (第2節)	体育	8月～11月		村民一般	6チーム	総当たり戦		社会体育館	
第16回ソフトバレーリーグ戦 (冬季リーグ)	体育	1月～3月		村民一般	6チーム	総当たり戦		社会体育館	
村民体育祭 ソフトバレー	体育	10月16日		村民一般	4チーム	6人制バレーコートによる変則ルールでの開催		社会体育館	
村民体育祭 村民登山	体育	9月4日		村民一般	21名	台風21号接近により中止		御嶽山	
村民体育祭 ハイキング	体育他	10月14日		村民一般	46名	木祖村役場～鳥居峠～奈良井宿			
村民体育祭 フットサル	体育	10月20日		村民一般		総当たり戦		社会体育館	
村民体育祭 ゴルフ	体育	10月28日		村民一般	24名			木曽カントリー	
第60回木曽川 源流村内一周 駅伝大会	体育	11月3日		村民一般	一部 28チーム 二部 4チーム	村内一周を繋ぐ、伝統の駅伝大会		村内一円	小木曽南11連覇

○平成30年度 教育委員会・公民館学級講座(すくすく倶楽部)

<b>すく～る・スキー</b>						
No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	4月28日(土)	すく～る(全学年)①	小学校体育館	スポーツテストに向けた内容	37	0
2	5月12日(土)	すく～る(全学年)②	小学校体育館	スポーツテストに向けた内容	45	3
3	6月23日(土)	すく～る(全学年)③	小学校体育館	スポーツテストに向けた内容	32	2
4	8月11日(土)	すく～る(全学年)④	小学校プール	プール	15	2
5	8月18日(土)	すく～る(全学年)⑤	小学校プール	プール	11	1
6	9月1日(土)	すく～る(全学年)⑥	小学校体育館	運動会前の走りのコツなど	21	0
7	9月8日(土)	すく～る(全学年)⑦	小学校体育館	運動会前の走りのコツなど	30	0
8	10月6日(土)	すく～る(全学年)⑧	小学校体育館	器械体操ほか	21	0
9	10月13日(土)	すく～る(全学年)⑨	小学校体育館	器械体操ほか	21	0
10	1月13日(土)	スキー教室 (低学年)	やぶはら高原スキー場	レベル別に別れて、スキー教室をします。	25	
11	1月20日(土)				10	0
12	2月3日(土)				19	
<b>物づくり体験</b>					287	8
No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	6月3日(日)	絵画教室 低学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう!	19	1
2	6月10日(日)	絵画教室 高学年 (イベント実行委員会共催)	村民センター	自分で描いた絵を日曜画家展に出展しよう!	30	4
3	7月1日(日)	サンドブラスト体験 (午前低学年・午後高学年)	村民センター	人気講座! グラス等にオリジナルの模様を付けます!	73	7
4	11月10日(土)	クッキング① (1・3・5年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	17	1
5	11月17日(土)	クッキング② (2・4・6年生対象)	小学校調理室	家庭でも出来る手軽な料理づくりに挑戦	22	1
6	2月23日(土)	閉講式&ケーキづくり	村民センター	閉講式&ケーキのデコレーションと試食! ピンゴ大会もあるよ!	58	1
<b>野外活動・体験</b>					219	15
No	開催日	タイトル	場所	内容	参加児童	jrリーダー
1	4月21日(土)	開講式・レクリエーションゲーム	社会体育館	開講式と、レクリエーションゲームを行ないます。	56	5
2	5月20日(日)	田植え体験	小木曽地区	田植えをしてお米を育ててみよう!	36	1
3	5月26日(日)	ウォークラリー	菅地区地区	クイズに答えながら散策しよう!	58	1
4	6月9日(土)	釣り教室	こだまの森	こだまの森の溪流釣り場で釣り体験をやってみよう!	43	0
5	7月22日(日)	あやめ池湖底探検	あやめ池公園	あやめ池改修工事により水を抜いた池の湖底探検をしよう!	65	0
6	7月27日(月)	デイキャンプアウトドア体験 (高学年対象)	こだまの森	アウトドアクッキングやナイト企画を体験しよう!	31	0
7	8月5日(日)	カヌー体験(PTA共催)	奥木曽湖	奥木曽湖でカヌーに乗ります。水遊びも可能!	36	3
8	10月7日(日)	稲刈り体験	小木曽地区	自分で植えた稲を刈ってみよう!	雨天により中止	
9	10月20日(土)	ハイキング	鳥居峠	鳥居峠越えハイキングを楽しもう!!	37	0
10	10月21日(日)	脱穀体験	小木曽地区	自分で刈った稲を脱穀してみよう!	32	1
11	12月2日(日)	もちつき体験	村民センター	自分で作ったお米でお餅をついて食べてみよう!	43	2
12	2月9日(土)	スノーシュー体験	こだまの森	スノーシューを履いて雪山散策をしよう!	29	1
<b>合計30回開催(1回中止)</b>					<b>972</b>	<b>37</b>